

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	札幌市立美しが丘小学校 第5学年 33名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・道徳） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	スポーツの体験を通して、スポーツへの興味・関心を喚起し、オリンピック・パラリンピック競技への理解を深めていく中で、よりスポーツに親しむ。
5 取組内容	○指導計画【3時間扱い】 ・道徳：1時間 ◆私たちの道徳（小学校5・6年）「自分をみがいて」 「希望と勇気をもってくじけずに」の頁で、自分が描いている夢を記入し、自分の事として考える。また、目標に向かって努力を重ねた人たちのコラムを読んで、希望と勇気をもってくじけないで努力することの大切さについて考える。 ・道徳：1時間 ◆オリンピックを招いての講演会 テーマ：「チャレンジ！！」 - 目標に向かって努力を重ねた体験談を聞き、チャレンジすることの大切さについて考える。 ・体育：1時間 ◆オリンピックを招いてのバスケットボール体験 - 楽しく体を動かすバスケットボールのゲーム体験など。 ○取組の様子 ・矢代直美氏による講話 スライドを見ながら五輪の由来について説明を聞いた。



	・ボールを使った準備運動 矢代直美氏のアドバイスの下、全児童が楽しみながら行った。 ・楽しく上達するゲーム チーム対抗で行うシュートゲームを行った。シュートする場所によって入る点数が異なり、点数の高いチームが勝ちとなった。矢代直美氏を交えて、とても盛り上がった。	 
6 主な成果	自分の夢を叶え、貴重な経験をしている講師の方に指導していただくことは、子どもにとって夢を実感できる絶好の機会となった。 実際に夢を叶えた方の話だからこそ、説得力のあるものであり、「チャレンジすることは自分の可能性を広げること」など、体験を通して大切なことを学び、子どもは心を動かされた。	
7 実践において工夫した点	体験では、子どもたちが興味をもって取り組める工夫を入れて指導をしてくださった。ボールを使った準備運動・ストレッチやボールを使った反応の練習など、普段の体育の学習でもすぐに取り入れられるものだった。	
8 主な課題等	オリンピックとの交流は、子どもにとって滅多に無い貴重な機会であったが、まとめるための時間が必ずしも十分ではなかった。	
9 今後の取組について	しっかりと計画を立て、様々な教科等の中の関係する学習をピックアップするなど、子どもにとって、有意義な指導計画を立てるようにする。	